

【テーマ】	2020年東京オリンピックに行こう！君たちなら出れる！
【日程】	2013/11/10
【目的】	<ul style="list-style-type: none"> ・カブスカウト達が多く仲間がいることを知り、仲良くなる。 ・他団のスカウトとの交流を通じ相互に影響し合う。 ・スケールの大きな活動を通じスカウティングの楽しさを体験する。
【目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・他団の10人以上の友達と仲良くする。。 ・他団の10人以上の友達と名刺交換をする。。
【参加予定人数】	「出欠」ワークシートに記載
【活動場所】	遠州灘海浜公園
【活動予定】	別紙
【持ち物】	制服、制帽、水筒、カブ弁当、名刺10枚以上、軍手、ゴミ袋、タオル、活動着

2013年11月地区大会CS部門実施計画書.xls
 実施プログラム(晴れプロ)

作成:2013-10-10岡崎真一
 更新:

10日

時間	担当者	活動場所	活動内容	活動詳細	潜在的危険	原因	危険排除策
8:00	CSスタッフ		スタッフ集合	カブリンピック準備			
9:00	14団鈴木さん		受付、スカウト集合	団ごとに人数報告をしてもらう(スカウト、指導者、デンリーダー、保護者、子供、合計)			
9:30	CSスタッフ		開会セレモニー	スタッフは、カブリンピック準備			
10:00	CSスタッフ		カブリンピック				
11:30	CSスタッフ		昼食				
12:30	CSスタッフ		海岸清掃				
14:00	CSスタッフ		閉会セレモニー				
14:30	CSスタッフ		解散	仲よしの輪をして解散			

2013地区大会草案(カブ部門)

時間	項目	名前	内容	採点方法	準備品	参加者	使用スペースと場所	担当	備考
10:00	カブリンピックの開会式	集合	U字形					河合さん	
		話	カブリンピックの話 名刺交換の話 活動エリアの話 説明と注意事項					岡崎	
		歌	カブリンピックに向けて、「ヤヤヨーヨーユビ」のような元気の出る歌					鈴木さん	
10:15	アイスブレイク	みんなが仲良くなる自己紹介ミニゲーム 名刺交換	司会者の出した「お題」にしたがってあいさつをしながら自分と意見が合う人を探す。 「こんにちは1団の です」「こんにちは2団の です」「好きな食べ物は です(二人同時に)」「意見の合う仲間を探せたらペアで座る。 お題は「好きな食べ物」や「好きな動物」や「誕生日」など。		名刺(10枚以上)	スカウト全員			時間に余裕があれば行う、無ければ止める)
カブリンピック		誕生日調査 選手宣誓	当日が誕生日もしくは近い日のスカウトに選手宣誓をやらせよう 誕生日調査を行い、該当するスカウトに前に来てもらい選手宣誓(複数人でもOK)	そこで突然、選手宣誓の任務を任される「ビックリ！」 (但し、シャイな子もいるので、ちゃんとリーダーがフォローする)	スカウトにとっては、突然の選手宣誓なので、予め原稿を作っておく	スカウト全員		倉島さん	
		聖火リレー	聖火を持ち、新聞紙を膝にはさみDLを回って行く競技 距離は片道10mぐらい 各組の人数を揃える(足りなければ2回走る、多ければ選抜) 全員(全組)で同時に競う	この順位で各コーナーに出發する	聖火(赤いボンボンを付けた聖火うを一水会で作る) 新聞紙 メジャー PPロープ ピンペグ	スカウト全員		スタッフ全員	聖火材料などは岡崎が準備
		フェンシング	フェンシングの剣を歩測で5mのところ刺して来る。組の代表者でも良いし、複数人でやって合議でも良い。 一歩前へはフランス語で「マルシェ」なので一歩進むごとに「マルシェ」と叫ぶ。 剣を地面に突き刺す時はフランス語で「ファンデブ」と叫びながら突き刺す。	刺し終わったら、リーダーがスタート地点からの距離を計測する。計測結果をスコアカードに記入する。	新聞紙 メジャー PPロープ ピンペグ	組ごと		19団	
		人命救助	ロープ先端をもやい結びする(もやい結びを修得) 先にある的をめがけてロープを投げ、的に触った人が救助成功(的は溺れている人) 最後にもやい結びと人命救助の説明をする	成功者の割合が組の得点となる 0~10点 得点をスコアカードに記入する	カブロープ(各スカウト持参) 溺れている人の的(ダンボール?)	組ごと		1団、引2団	

10:15	ホーガン投げ	カブロープで作られたサークルから出ないように、肩の位置からボール(新聞紙を丸めたボール)を投げ数字書いてある的にボールを当てる	当たった数字がそのまま得点になる 組全員の平均得点が組の得点となる 0~10点 得点をスコアカードに記入する	新聞紙のボール カブロープ ダンボール的(数字) メジャー PPロープ ピンベグ	組ごと		7団、浜名1団	
	やり投げ	その場で新聞紙一枚とセロテープでやりを作る 飛んだ距離を競う	飛んだ距離(m)×10が得点となる 組全員の平均得点が組の得点となる 0~10点	新聞紙 セロテープ メジャー PPロープ ピンベグ	組ごと		14団、29団	
	円盤投げ	カブロープの先端同士を本結びで結び、大きな円を作る。 点数の付いた札が地面に刺さっており、ロープの円が崩れないように上手に投げ、その中に入った札の合計得点が得点になる。	札の合計得点 0~10点 得点をスコアカードに記入する	点数の書いてある札 ピンベグ ハンマー ガムテープ	組ごと		12団	
	カブリンピックの最後に投票(時間が押しているようなら、昼食中でも可)	2013年カブ隊が決める流行語大賞	以下の流行語に各組が投票する 「今でしょ!」 「フライングゲット」 「アベノミクス」 「フナッシー」 「じえじえじえ」 「倍返し」 「16NJ(日本ジャンボリー)」 「東京オリンピック」 「お・も・て・な・し」 「体操のひねり王子、しらい君」 「動画・動画」	今年一番気になった流行語を、各組ひとつ選んで投票する	ダンボールに書かれた流行語パネル ダンボール投票箱 投票用紙(組の数分) この表彰は、祝声のみ(何組が表象されるか分からないから)	組ごと		高村さん
	カブリンピックの終了宣言	話 カブリンピックの終了宣言(閉会式にはVIPが来ます) 昼食と海岸清掃の移動の話					岡崎	
11:30	昼食							
12:30	移動	各組個々に移動						
	海岸清掃	説明 集合&清掃の前に説明 清掃時の注意事項 集めたごみは自分で持ち帰る 怪しい物は捨てるな!		軍手 ごみ袋			岡崎	
					スカウト・リーダー全員			
	司会						竹内さん	

14:00	カブリンピックの閉所式	閉所式の中で表彰	国際カブリンピック委員会(略してICC)元会長、金髪のカブサマ～ランチ会長(現ロンゲ会長でも可)から片言の日本語で優秀組の発表とメダルの授与 (カブサマ～ランチ会長は川瀬さん)	総合得点:得点の高い組から順に首から提げるリボンタイプの金銀銅メダルを組のスカウト全員に授与	金髪のかつら 高い鼻 カブサマ～ランチ会長(現ロンゲ会長でも可)名札 金銀銅ミニホルダー¥525 (5個入)×9 リボン 安全ピン	スカウト全員		川瀬さん	材料は岡崎が準備
		閉所式の中で表彰	祝声			スカウト全員			
		閉所式の中で表彰	各コーナーリーダーによる「独断と偏見で賞」		賞品は各コーナー担当リーダーが用意する。組旗につける物でも良いし、組スカウト全員分でも良い。	スカウト全員		スタッフ全員	
		閉所式の中で表彰	祝声			スカウト全員			
		話				スカウト全員		岡崎	
		歌	歌:連盟歌			スカウト全員			
	仲良しの輪				スカウト全員				

【テーマ】

2020年東京オリンピックに行こう！君たちなら出来る！

【活動目的】

- ・カブスカウト達が多く仲間がいることを知り、仲良くなる。
- ・他団のスカウトとの交流を通じ相互に影響し合う。
- ・スケールの大きな活動を通じスカウティングの楽しさを体験する。

【活動目標】

- ・他団の10人以上の友達と仲良くする。。
- ・他団の10人以上の友達と名刺交換をする。。

【ストーリー】

色々な人の努力のおかげで、2020年オリンピックが東京で開催される事に決定しました。
そこで我々浜松地区のカブスカウトは、2020年オリンピックの正式種目になるかもしれない競技にチャレンジしてもらおう。
優秀な成績を収めた組は、2020年のオリンピックに出場できるので、是非とも頑張って良い成績を収めてほしい。

【その他 メモ】

全て回れない可能性があるので「3箇所以上のコーナーを回りなさい」「スコアカードに書かれたコーナーのベスト3の得点の合計を、その組の得点とします」

80人15組を想定

スカウトの持ち物はカブロープ

場所は―――

カブリニック時間は90分間を想定

次回のいっすい会に準備品を持ち寄って確認

今月末までに参加人数を岡寄まで報告

スコアカード(ラジオ体操みたいな)を各組に渡す(作成 岡寄)

名刺交換は活動中いつでもOK